

事業実績シート

2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		0	0	479,866					
(財源内訳)	国庫支出金	0	0						
	県支出金	0	0						
	地方債	0	0						
	その他	0	0						
	市町振興共同事業助成金	0	0	239,933					
	一般財源	0	0	239,933					
成果(活動)指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	25年度	26年度	27年度
	①	試食・試飲提供 イベント・営業数	市外の個人・飲食店・バイヤー等に直接五島製品の味を知ってもらうことにより五島製品の販路拡大につながる。	回	目標	-	-	10	
					実績	-	-	11	
				目標達成率(%)		-	-	110.0	
	②			人	目標				
					実績				
				目標達成率(%)					

3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+) 私益 (-) 公益 (+) 選択 (-)
	(公益性)	(必需性)	
	<input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	<input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価	(3) 廃止又は休止した場合の影響	
妥当性低い 妥当性高い (-) 0 (+) 	(影響内容、程度等) 全国的に少子高齢化や人口減少が問題となっている昨今において、離島という厳しい状況下にある本市においては、五島製品の販路を拡大することにより、市内事業者の収益向上ひいては雇用者の増加へとつなげ、雇用の場を確保することを目指しているため、事業を廃止又は休止した場合は、人口減少対策の一翼を失うことに繋がる。		

事業実績シート

4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)		
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		五島市、五島市物産振興協会で共同したことによる参加イベント、新規営業先が増加した。		
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地				
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	実施予定 期 日	H28 年度	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 今後も継続して、既存イベント及び既存営業先へ五島の新たな産品をPRすることにより、五島産品の知名度向上、販路拡大を目指すとともに、新規イベントや新規営業先を五島市、五島市物産振興協会と共同で開拓しさらなる五島産品の販路拡大を目指し、五島産品のブランド力を高める。	
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)			
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない					
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)		
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		民間委託化や非常勤化等の検討はないと考えるが、五島市物産振興協会と連携し事業を進める。		
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)		
	<input type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		販路拡大、知名度向上への入口となるサンプル品の試食試飲なので、有料にすることにより効果的な五島産品のPRが困難となる。		

5 今後の方向性

必要性の点検から	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施(予定)時期					
有効性の点検から	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input checked="" type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期		H28			
効率性の点検から	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実施予定時期					
具体的内容	市外での産品PRは、まずは『五島産品』を知ってもらうための有効的な手段であり今後も必要な活動だと考えられるため今後も継続して実施していきたい。				